

マイアミ移住から3年
現地の取扱高40億円に

夢の街マイアミ 不動産投資事情

コア社長の

往復を繰り返しながら日本（岐阜県）とマイアミの両方の地域において同時進行で多くの不動産を扱ってきた。マイアミでの事業は自ら不良債権物件（ショートセール、フォークロージャール）の買い取り転売を繰り返すことからスタートし、13年から日本人投資家向けに中古物件、13年後半からはプレビルド新築物件投資のコンサルティング業務へと業務内容を変遷させながら現在に至る。

最初の1年は助走期間。その後の2年間で総額40億円弱という金額の不動産をマイアミで取り扱うことができた。22年間日本で不動産事業に専念してきた経験をもちなが

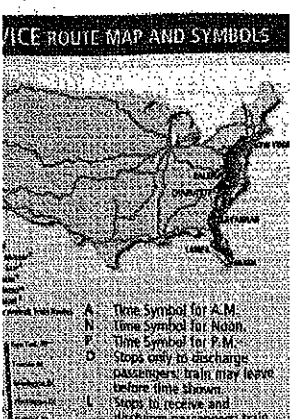
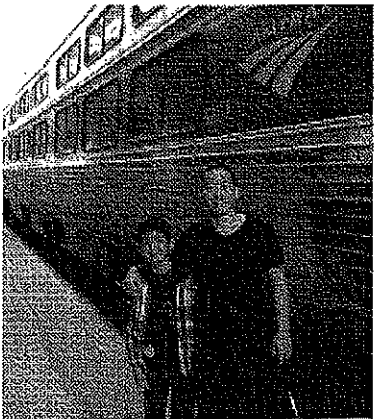
妻、小学生3人の子どもを連れてマイアミに引っ越したのが、大震災直後の11年3月27日。当初は地震から逃避してきたのかと現地のアメリカ人によく言われた。大企業の駐在や転勤と違って教えてくれる前任者がいるわけでもなく何もかもが初めての経験でまさしく手探り状態での生活が始まった。

それからちよつと丸3年が経過した14年3月27日、マイアミからニューヨークへ向かう電車（アムトラック）の中で3年間を振り返りながらこの原稿を書いている。3年の間に日本とマイアミの往復は20回を数える。直行便がないため、パイロットや客室乗務員もこの区間の往復はしない。日本から一番遠いアメリカであるマイアミをこの3年間で一番多く行き来をした日本人はきっと筆者であろう。

買取再販から始め、投資コンサルタントへ

ら、デュアルライフを通してマイアミ不動産を数多く扱うというキャリアには我ながら一定の自信を持っている。日本プロ野球で経験を積んだ野茂英雄選手は誰も思いつかなかった大リーグに挑戦し道を切り開いた。筆者も日本の不動産で経験を積み同様にそのフロンティア精神でマイアミというフィールドに挑戦し突破口を開いた。マイアミへ不動産投資をしようという日本人投資家は増加を続ける傾向にあるが、今後もマイアミ不動産投資の道先案内人としてコンサルティング活動をしたいと考えている。

今回の旅行は渡米3周年を記念して9歳になった長男と男同士で初めての二人旅。26時間をかけて始発駅であるマイアミから終着駅のニューヨークへ上京するちよつとした冒険旅行だ。息子も小



学1年生から丸3年現地の学校に通ったおかげで英語はネイティブ並みになったが、当初は言葉や習慣の違いに戸惑い泣きながら学校へ通った。この旅を通して挑戦することの大切さとそのワクワク感、達成感を体験し、チャレンジ精神を友達にするきっかけになってくれればと思

いながら流れる車窓を眺めている。
（小原隆浩）隔週掲載